

## IPv6 を利用した交通整理

### ・現在の交通事情

現在の交通事故の大半は交差点で起きています。信号機という交通整理の為の機械があるにも関わらずです。それではその信号機になにかしらの問題点、欠点があるのではないのでしょうか。私は常々そう考えていました。

### ・交通事故をなくす（減らす）には

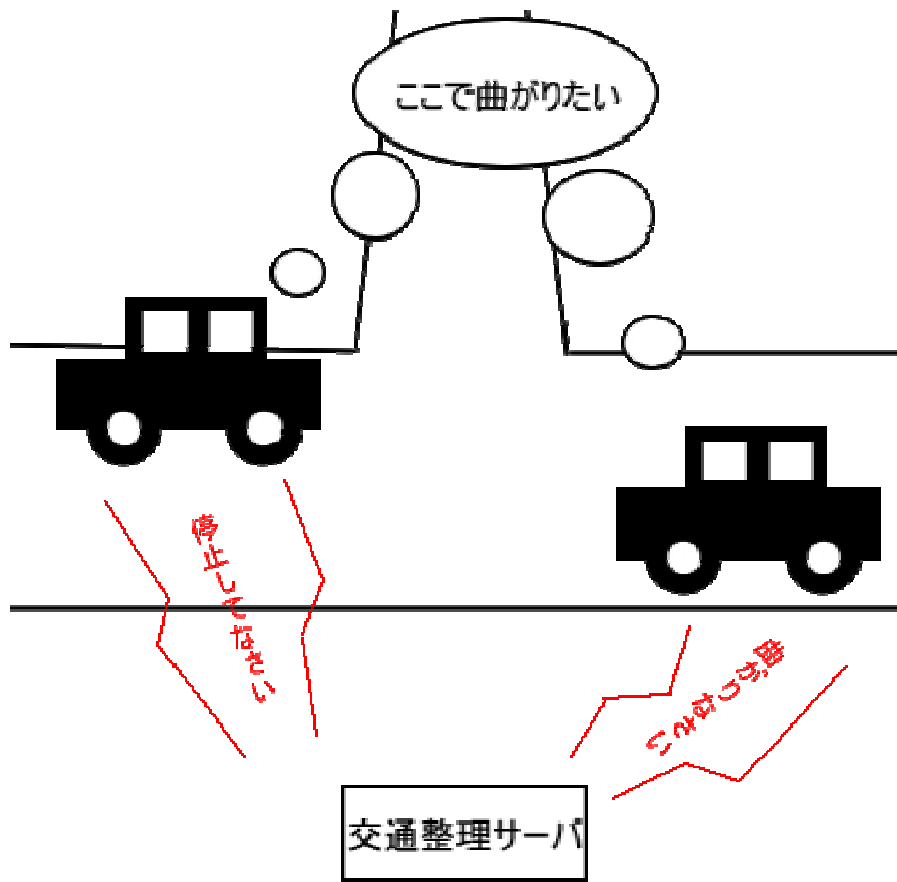
信号機での交通整理では機械に従って人間が車を操作するというスタイルです。ここで操作という一番重要なファクターに人間が関わっています。これでは事故が起きてあたりまでです。ではどうすれば良いのでしょうか。そうです人間が操作するということを排除すれば良いだけです。ここに IPv6 を利用しようと考えました。

### ・IPv6 利用の提案

交差点では進路の選択を迫られます。その進路を知りうるのは何者でしょう。運転者とカーナビです。私はこの点に着目しカーナビに IP アドレスを付加しようと思います。そして交差点には無線 LAN のような無線通信が可能な交通整理サーバを用意しておくのです。そして自動車が交差点に近づくと交通整理サーバに進行方向等のデータをカーナビに送ってやり、カーナビはサーバからの指示に従い自動車の停止などを行います。

### ・残る問題

交差点での自動車の交通整理はこれまでの提案で解決したとしても、大きな問題が残っています。それは歩行者や自転車の安全です。これに関しては今までの押しボタン式信号機のようなものか、サーモグラフィーなどを用いた人間監視装置などが考えられます。歩行者を感知したらその歩行者の妨げとなるような自動車を停止させるよう交通整理サーバが指示を出すのです。



交通整理のイメージ

#### ・付随効果

私は交通事故を減らすために自動車に IP アドレスを付加しようと考えていました。しかしそれ以外の効果はないだろうかと考えていたところ、大変役立つことに使えるのではないかと気づきました。それは渋滞の緩和です。自動車一台一台にユニークな値である IP アドレスが付いていて、しかもカーナビによって通る道が予定されているのならば、それらの情報を集約して計算させられるのではないのでしょうか。そうすることによって渋滞検知・予測の精度が大幅に向上し渋滞の緩和となるでしょう。

このシステムが完成すれば自動車の利用はより安全に、より快適になることでしょう。